

第6回佐賀県女子溶接技術競技会

きょう表彰式

次代を担う溶接技能者育成

佐賀県と佐賀県溶接協会（佐賀市、森孝一理事長）は10日、佐賀市の佐賀県庁内で「第6回佐賀県女子溶接技術競技会」（日刊工業新聞社など後援）の表彰式を開く。同競技会は2025年11月、佐賀県工業技術センター（佐賀市）で「被覆アーク溶接」と「炭酸ガスアーク溶接」の2部門が実施され、計16人が参加した。佐賀県内の企業や学校に所属する女性たちが切磋琢磨（せつさたくま）して溶接に向き合い、技術を高め合っている。



競技が始まると選手たちの目は真剣そのもの

学生・社会人 幅広く参加

佐賀県女子溶接技術競技会は20年度に始まり、今回で6回目を迎えた。佐賀県の井手宣拓産業労働部長は「歴史的に見ても現在においても、ものづくりは佐賀県の宝。その中で溶接は大切な基幹技術だ。」

佐賀県溶接協会の森孝一理事長（森鉄工社長）は「女性技術者によるこの大会は全国的にも注目されている。各選手による競技レベルが高まり、審査員泣かせの激戦だ。選手の技能向上が課題の難易度アップにもつながっている」と述べた。



日頃磨いている溶接の腕を競う



佐賀県と佐賀県溶接協会が一体となって競技会を遂行



競技終了後は全員が展示される各作品に見入る

佐賀のもののづくりの未来へ

女子溶接として全国初の取り組みである「佐賀県女子溶接技術競技会」も、2025年度で6回目を迎えました。他の企業や学校の技術者と互いに「志」を高め合い、文字通り火花を散らす舞台として定着し、職人や生徒の皆さんから挑戦への熱意が芽生えています。この大会をきっかけに、橋やビルといった重要な鋼構造物を溶接する際に必要となる溶接技能者評価試験を受験する女性が増加しました。

メッセージ



佐賀県知事 山口 祥義氏

新たな佐賀のランドマークとなったSAGAアリーナでSAGAサンライズパークの工事でも、溶接技術は欠かせないものとして構造を支えてくれています。ものづくりの現場において、職人の高い技術を生かすシーンはこれからも増えていくでしょう。佐賀県では25年、佐賀のもののづくりの素晴らしい若い世代に伝えるため、「ものづくりエスタ」と「SAGA X Out of KidZania（アウ ト オフ キッズニア）」を開催しました。パトロールを

戸上電機製作所

開閉器生産カイゼン加速

戸上電機製作所（佐賀市、戸上信一社長）は高圧開閉器や制御機器などを手がける。電力会社向けの配電機器や電気工事の施工管理などを含めて、インフラを支えている。佐賀県溶接協会と技術指導に当たる佐藤桂樹顧問（日本溶接協会マイスター）は「大会に臨む選手たちの皆さんは、自分の戦いを乗り越えている。選手の手には、きつと鍛え上げた技術が宿っている。その宿った力を存分に発揮して、自分を信じて競技に取り組んでほしい」とエールを送る。溶接技術向上を目指す佐賀県女子溶接技術競技会に出場する選手たち全員が、佐賀県のものづくりを支える基盤となる存在だ。



開閉器の付属品は収納場所の棚が光る「ピッキングシステム」を採用

名村造船所

伊万里事業所、国内屈指の建造量

名村造船所（大阪市西区、名村建社社長）は、主力製造拠点として佐賀県伊万里市に伊万里事業所を構える。1911年の創業以来、700隻を超える船舶（LPG）を世に送り出し、国際貿易を支える外航船舶を中心に、開発・設計から建造、引き渡しまでを自社工場で一貫して担ってきた。2000人超のグループ



名村造船所が手がける全長300m級×幅50m級のばら積み貨物船

笑顔が素敵な彼女は
溶接技能者

溶接女子

眩しい光とアーク熱、溶けた金属が飛び散る溶接現場は、昔から男性専門職場と見られてきました。私たち戸上電機グループでは、そんな古い常識を破り、手に溶接トーチと遮光面を持ち、敢えて素敵な笑顔を隠しながら日々溶接業務に励む、優れた技能を持った「溶接女子」が活躍しています。



100th
ANNIVERSARY
さあ 挑もう つかろう かえていこう

社会を、地球を、未来を豊かに。

Togami

株式会社 戸上電機製作所
〒840-0802 佐賀県佐賀市大財北町1-1
TEL0952-24-4111 FAX0952-26-4594
https://www.togami-elec.co.jp/

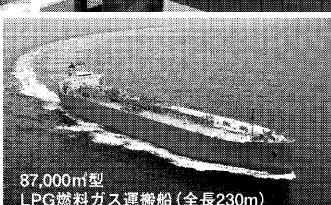
●電力システム機器 ●制御システム機器 ●環境機器 ●環境ソリューション機器 ●探査・測定機器

造船は想像以上だ。

女性技術者も活躍中!



伊万里事業所（佐賀県）



87,000m³型LPG燃料ガス運搬船（全長230m）



六島川大橋（全長982m）

伊万里から世界へ発進。

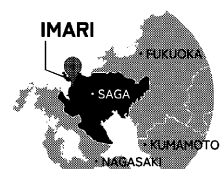
名村造船所

採用情報はコチラから

なむらぞうせんしょ



GNRECRUIT



SAGAで腕を磨き 輝く私たち！

第6回佐賀県女子溶接技術競技会 出場16選手アンケート

第6回佐賀県女子溶接技術競技会に出場の全16選手に、企業や学校で溶接に取り組む場面や今後の目標を聞いた。

質問項目

- ①就業者・職場での仕事内容、仕事で溶接を学ぶ機会
- ②今後の目標

①機械科で旋盤や溶接を学んでおり、学業やアルバイトの空いた時間を効率よく使って練習に取り組んでいる。②勉強や部活を頑張っている。③次の溶接大会でも今回の成績より上を目指したい。

被覆アーク溶接の部
(氏名と所属先、番号は競技番号、敬称略)

1・久米美佐希（北陵高校）
①情報処理。余計なことは考えずに②これからいろいろなことに挑戦する。

2・室響（戸上電機製作所）
①半自動溶接や溶接ロボットのオペレーター。半自動溶接やアーク溶接による部品加工②もっと溶接がうまくなり、大会では満点に近い点数を取りたい。仕事では後輩に頼られる先輩になりたい。

3・大霜花梨（戸上電機製作所）
①国内外で使われるコンクリートの型枠を製造。大会や講習会で学ぶ技術は電流調節や重溶接する場面などで生かされている。②今後も女子大会で溶接技術を上達させ、仕事に役立てていきたい。

4・武富あこ（佐賀県立立堀野高校）
①溶接ロボットのオペレーターで修正溶接などに携わる。②仕事は指導できるまで上達し、大会では点数をどんどん上げていきたい。

5・林暖心（佐賀県立佐賀工業高校）
①電気基礎。部活動で溶接をして、大会で活躍できるように取り組んでいる。④4月から3年生となり就職活動が始まるので希望企業に行くこと、大会で良い結果を残したい。

6・松尾陽詩（佐賀県立佐賀工業高校）
①溶接や鋳造、旋盤、プログラミング。安全面を考慮して取り組んでいる。②もっと溶接が上達できるように頑張りたい。

7・田中梨央（戸上電機製作所）
①溶接や鋳造、旋盤、プログラミング。安全面を考慮して取り組んでいる。②もっと溶接が上達できるように頑張りたい。

8・大隈麻衣（シンエイメタルテック）
①製品の拭き上げや荷造り、発送準備など。②普段は溶接に携わる仕事ではないが、機会があれば競技会にチャレンジしたいと思う。

9・光石有希（シンエイメタルテック）
①出荷や拭き上げ、荷造り、納期管理など。③今大会は準備や練習時間不足で満足いく出来ではなかった。次回までに実力を高めて、落ち着いて臨みたい。

①ファイナルバル製造装置の開発で図面など設計業務。設計から溶接を意図し、溶接の奥深さと現場の技術力の高さを実感。②女性が技術分野で活躍する姿をもっと広められるように積極交流したい。自分自身の技能向上と周囲に好影響を与えられようになりたい。

10・荒木美月（名村造船所）
①船の前と後ろの曲がり部分の溶接（フロッグ製作）。手溶接や簡易台車などの機械も使って溶接している。②もっと技術を身に付けて、先輩たちに追いつけるように努力したい。

11・田中ひとみ（ワイビーエム）
①パイプの溶接。日々、手や機械によるパイプの溶接に取り組んでいる。②自分自身の技術向上も大事だが、先輩方から「機械と友達になる」と言われたことが分かってきた。どの機械とも「友達」になり、どの機械を使っても変わらない溶接ができるようになりたい。

12・山田恵理（名村造船所）
①毎日仕事で溶接に向き合っている。溶接のより高度な資格取得を目指して頑張りたい。

13・山田恵理（名村造船所）
①毎日仕事で溶接に向き合っている。溶接のより高度な資格取得を目指して頑張りたい。

14・山田恵理（名村造船所）
①毎日仕事で溶接に向き合っている。溶接のより高度な資格取得を目指して頑張りたい。

15・山田恵理（名村造船所）
①毎日仕事で溶接に向き合っている。溶接のより高度な資格取得を目指して頑張りたい。

16・山田恵理（名村造船所）
①毎日仕事で溶接に向き合っている。溶接のより高度な資格取得を目指して頑張りたい。

17・山田恵理（名村造船所）
①毎日仕事で溶接に向き合っている。溶接のより高度な資格取得を目指して頑張りたい。

18・山田恵理（名村造船所）
①毎日仕事で溶接に向き合っている。溶接のより高度な資格取得を目指して頑張りたい。

19・山田恵理（名村造船所）
①毎日仕事で溶接に向き合っている。溶接のより高度な資格取得を目指して頑張りたい。

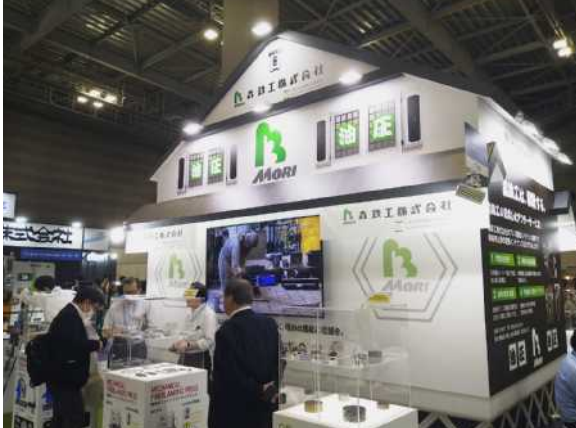


第6回佐賀県女子溶接技術競技会に出場した選手と関係者

森鉄工

ものづくりラボで工法開発

森鉄工（佐賀県鹿島市、森孝社長）は、各種溶接プレスや鍛冶機械の設計・製作などを手がける。同社は本社エリア内に試作用プレス機を備えた研究開発棟となる「ものづくりラボ（ラボ）」を設けている。同ラボは顧客の工法開発、ライアルに特化した施設で多軸プレス台、揺動鍛造プレス1台などを設置している。同社は27年6月23～26日開催の「MF-TOKYO2025」にも出展する予定だ。外部要職も担う森社長は25年10月まで地元鹿島商工会議所の会頭を3期9年務めた。同会議所元会頭として25年秋の叙勲で旭日小綬章を受章した。



「MF-TOKYO2025」では、地元・鹿島市の酒蔵をイメージしたブースを出展

ワイビーエム

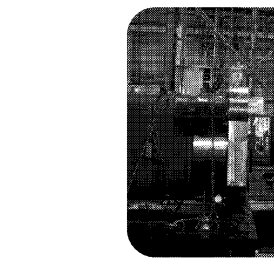
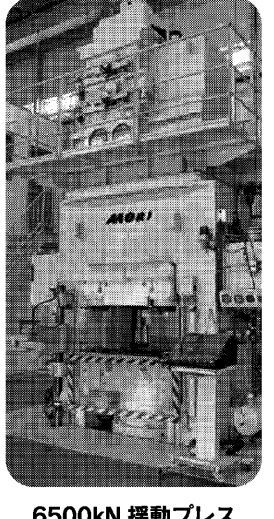
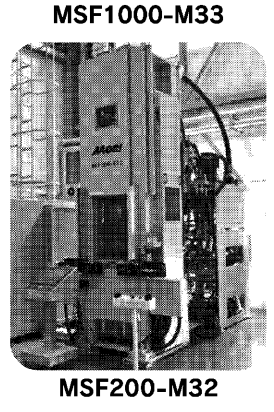
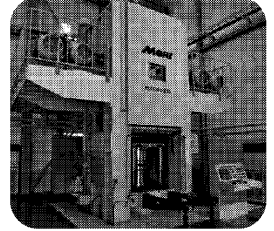
営業から開発・製造まで一貫体制

ワイビーエム（佐賀県唐津市、吉田力雄社長）は、地盤改良機やボーリングマシン、水処理装置などを手がける。長く培ってきた掘削の技術と地中熱や水を用いた開発力、応用力をもとに、持続可能な地球環境づくりに貢献している。顧客の課題に向き合い、多様な要望に応えるために営業から設計開発、製造まで一貫体制で取り組んでいる。立命館大学と宇宙航空研究開発機構（JAXA）による「月面探査・利用を産業化するための宇宙機械開発・人材育成拠点」や、佐賀県内の製造業で構成する組織「佐賀県宇宙関連業務研究会（STAR WORKS）」など、宇宙関連プロジェクトにも参画。同社の夢実現への事業を強化している。



ワイビーエムは地盤改良機やボーリングマシンなどを手がける

大好評です！ものづくりlab（研究開発棟）



お客様の懐に飛び込み、現場の声に耳を傾け、ただひとつのための技術開発。
森鉄工株式会社
本社工場 〒849-1302 佐賀県鹿島市大字井手2078 TEL/0954 (63) 3141 (代) FAX/0954 (63) 3157
http://www.moriiron.com（日本鍛冶機械工業会々員）
中部営業所/TEL 0566 (45) 7381 東京事務所/TEL 03 (3438) 0539 大阪事務所/TEL 06 (6303) 4872 海外/上海、ソウル、タイ、トロント、ミュンヘン

溶接で未来を繋ぐ。

ワイビーエムは溶接女子を応援しています。

ワイビーエムは地下と水の技術で明日の美しい地球環境づくりに貢献します。

YBM 株式会社 ワイビーエム

本社 〒847-0031 佐賀県唐津市原1534番地
TEL:0955-77-1121 FAX:0955-70-6010
https://www.ybm.jp/

YBM 80TH ANNIVERSARY
～時進月歩～